

## PRESS RELEASE

2015年10月30日  
株式会社三菱総合研究所

## 2015年7-9月期 GDP 1次速報予測

株式会社三菱総合研究所（代表取締役社長 大森京太 東京都千代田区永田町二丁目10番3号）は、内閣府より11月16日（月）に公表予定の2015年7-9月期のGDP速報（1次QE）について予測を行った。

2015年7-9月期	実質GDP	季節調整済前期比	+0.2%	（年率 +0.6%）
	名目GDP	季節調整済前期比	▲0.1%	（年率 ▲0.5%）

2015年7-9月期の実質GDPは、季節調整済前期比+0.2%（年率+0.6%）と予測する。4-6月期に大きく減少した消費や輸出が持ち直すことで、2四半期ぶりのプラス成長となる見込み。

消費は、雇用・所得環境の緩やかな回復が続く中、外出関連消費やエアコンなどの季節商品の売上が堅調であり、2四半期ぶりの増加を予想する。ただし、前期の大幅減に比べれば消費の回復力は鈍い。設備投資は、新興国経済の減速などから企業マインドが慎重化していることを背景に、2四半期連続の減少となろう。在庫は、自動車など耐久消費財を中心に製品・流通在庫の調整が進んでおり、3四半期ぶりのマイナス寄与を予想する。

輸出は、新興国経済の減速を背景に低水準での推移が続くが、米国向けが持ち直しつつあり、2四半期ぶりに増加に転じる見込み。訪日外国人消費などサービス収支の受取増加もプラスに寄与する。輸入は、消費や輸出の持ち直しを背景に、小幅増加を予想する。

表 2015年7-9月期 GDP速報 予測結果

単位：断りがない限り 季節調整済前期比（%）	2014年		2015年		
	10-12月期 実績		1-3月期 実績	4-6月期 実績	7-9月期 予測
実質GDP	0.3		1.1	▲0.3	0.2
季節調整済前期比年率	(1.3)		(4.5)	(▲1.2)	(0.6)
民間最終消費	0.3		0.4	▲0.7	0.4
民間住宅投資	▲0.6		1.7	1.9	0.4
民間企業設備投資	0.1		2.6	▲0.9	▲1.5
民間在庫	寄与度 ▲0.2		0.5	0.3	▲0.2
政府最終消費	0.3		0.3	0.5	0.3
公的固定資本形成	0.2		▲1.4	2.1	▲1.4
財・サービス輸出	2.8		1.6	▲4.4	2.6
財・サービス輸入	0.8		1.8	▲2.6	0.8
内需	寄与度 0.0		1.2	0.0	▲0.2
民需	寄与度 ▲0.1		1.2	▲0.2	▲0.2
公需	寄与度 0.1		0.0	0.2	▲0.0
外需	寄与度 0.3		▲0.1	▲0.3	0.3
名目GDP	0.8		2.1	0.1	▲0.1
季節調整済前期比年率	(3.2)		(8.9)	(0.2)	(▲0.5)
GDPデフレーター	前年同期比 2.4		3.5	1.5	1.5
国内需要デフレーター	前年同期比 2.1		1.5	0.0	▲0.1

注：既発表の実績値についても季節調整等に伴う遡及改定が行われる。  
表中の実績値は、2015年4-6月期2次QEに基づく。シャドー部分が今回の予測値。  
資料：実績は内閣府「国民経済計算」、予測は三菱総合研究所。

## 《本件に関するお問合せ先》

株式会社 三菱総合研究所 〒100-8141 東京都千代田区永田町二丁目10番3号  
政策・経済研究センター 森重彰浩 坂本貴志 電話：03-6705-6087 FAX：03-5157-2161  
E-mail：morisige@mri.co.jp takashi\_sakamoto@mri.co.jp  
広報部 峰尾 電話：03-6705-6000 FAX：03-5157-2169 E-mail：media@mri.co.jp  
尚、本資料は、内閣府記者クラブに配布致します。